

●長時間に備えよう

今回C96をはじめ、変則的な開催スタイルが続くC98（5月開催）までは・今回は長時間の入場待機を余儀なくされる可能性がある。そのつもりで十分に準備をして並ばないと、せっかく並んだのに途中で体調を崩してリタイア、入場さえ果たせずに帰宅という最悪の事態さえもあり得る。

特に企業ブースの入る青海展示棟は仮設会場なので周辺に飲食物を調達したり、現金をおろしたりできる場所が極めて少なく、待機列も大部分の時間が陽射しをさえぎる物のない屋外となるため、こちらに先に並ぶのであれば、全て会場到着より手前の時点で事前に調達していくべきだ。

- ・水分は絶対に必要。500mlペットボトル3本以上は携行しよう。
- ・簡単に食べられる行動食を用意。
- ・日焼けや熱中症の危険が高いため帽子・日除け必須。
- ・携帯扇風機、うちわ、扇子などの『風源』を用意。
- ・熱い地面に直接座らないように敷物や折りたたみイスを用意。
- ・携帯機器類のモバイルバッテリーは複数用意しよう。
- ・トイレには長時間かかる場合がある。早め早めの決断を。
- ・周囲の参加者と言葉を交わそう。気分が悪そうな参加者を見かけたら即スタッフに連絡を。
- ・自分が気分が悪くなったら、絶対に無理をせずに周囲に助けを求めよう。無理に1人で何とかしようとしないうこと。



●もちろん熱中症対策を！

長時間の屋外待機の際、なんと言っても怖いのは熱中症だ。最近では夏になるとこの言葉を目にしない日はないくらいで、予防方法や対策グッズもかなり一般化してきたのは非常に良い傾向だ。しかし、それらも、現場に用意してこなくては意味がない。残念なことに未だに帽子も被らず、手足や首の肌を直射日光に晒したまま一般入場の待機列に並んでいる参加者は数多いが、待機が長時間に及ぶ場合、そういった無防備な参加者ほど、当然リスクは加速度的に上昇する。水分と塩分だけ摂っていれば大丈夫、というわけではないということはよく理解してほしい。身体を直接加熱する日光を遮る物を用意することは、熱中症対策として基本かつ、非常に効果が大いなのだ。帽子、薄手の紫外線カットタイプの上着、大判のタオルなど、日傘以外の日除けグッズを全員必ず用意しておこう。

また、睡眠不足や過労も熱中症を招く要因なので、コミケット前夜や参加後は入浴し、適度に涼しい部屋でしっかり睡眠を取るよう心がけてほしい。

●スマート入退場で、みんな幸せになろうよ。

今回から導入されるリストバンド。これをお読みのアナタは当然入手済みだと思うが、今回のように実際にどういう状況になるか不明の場合には、なおさらこういった事前を用意できるものは用意しておくのが望ましい。当日に、と考えると、どれほどのタイムロスになるか分からないからだ。新しい試みが導入される時は、参加者側もスムーズな入場のために積極的に協力する必要がある。待機列が動く際にはヘッドホン類は外し、スマホやゲーム機もしまつて、周囲の状況やスタッフの誘導をきちんと把握して行動しよう。

また、もし入場後にアナタの用事が済んでなお、外に入場待機列が残っているような状況だった場合には、未だ入場できていない参加者に機会を譲るために少しだけ早めに会場を出るという協力もできる。

サークル参加者は逆にできるだけ長く頒布を続けることで、後から入場してきた参加者にもコミケットを十分楽しんでもらう一助となれるだろう。共にぜひご検討を！

